

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-117310(P2007-117310A)
 【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)
 【年通号数】公開・登録公報2007-018
 【出願番号】特願2005-311944(P2005-311944)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を貯留する貯留部と、

着脱可能に設けられ、前記貯留部から流下する遊技球を導入する遊技球処理装置とを備え、

同遊技球処理装置のハウジング内に、前記導入された遊技球が自重により流下する遊技球通路と、同遊技球通路の所定位置に設けられ駆動手段により駆動されることで前記遊技球通路の遊技球の通過を阻止又は許容する球止め部材とを備え、

前記遊技球通路を通過する遊技球が球検知手段により検知される遊技機において、

前記遊技球通路は前記球止め部材よりも上流側に、同球止め部材に向けて下り傾斜した底面上を遊技球が転動して流下する上流通路を備え、

同上流通路の前記底面がハウジング外部に露出されるように前記ハウジングの上部を上方に開放したことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記上流通路内にて遊技球が積み重なるのを防止すべく、前記上流通路の上面開放側を覆うカバー部材を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技機前面側にて遊技球を貯留する球受け皿と、

着脱可能に設けられ、前記球受け皿から流下する遊技球を取り込む取込装置とを備え、

同取込装置のハウジング内に、前記球受け皿から流下した遊技球が自重により流下する取込通路と、同取込通路の所定位置に設けられ駆動手段により駆動されることで前記取込通路の遊技球の通過を阻止又は許容する球止め部材と、同球止め部材の下流側に設けられ前記取込通路を通過する遊技球を検知する球検知手段とを有し、

同球検知手段により予め定められた数の遊技球が検知された場合に遊技の開始が許容される遊技機において、

前記取込通路は、前記球止め部材よりも上流側に、同球止め部材に向けて下り傾斜した底面上を遊技球が転動して流下する上流通路を備え、

同上流通路の前記底面がハウジング外部に露出されるように前記ハウジングの上部を上方に開放し、

さらに、前記上流通路内にて遊技球が積み重なるのを防止すべく、前記上流通路の上面開放側を覆うカバー部材を設け、

前記底面が遊技機前面側から視認可能となるように、前記取込装置を前記球受け皿に対して横並びで配置すると共に、前記カバー部材を透明材料で形成したことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

前記カバー部材を遊技機本体に取り付け、前記取込装置を前記カバー部材が前記遊技機本体に取り付けられた状態で取り外し可能に設けたことを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。